

競 技 規 則

- 1 本大会は、2008年日本陸上競技連盟駅伝競走規準並びに本大会要項及び本大会規則により行う。
- 2 レース中に走者が不慮の事故のために競技を中止した場合は、競技運営上から困難な面があるので、次走者を出発させる。この場合の出発時刻は、最終チーム走者から1分後に出発させオープンとして取り扱い、総合記録は認めないが、事故のあった区間以外の記録は認める。
- 3 ナンバーカードは、ユニフォームの胸、背部に確実に縫い付けること（安全ピンでもよい）。
- 4 タスキは、大会事務局準備のものを使用し、走行中には必ず肩から脇の下に掛けること。
- 5 人及び車両による伴走及び飲食物の補給・その他の援助は、失格の対象となるので 注意すること。
- 6 スタートにおけるレーン順は、以下の方法で決定する。
 - (1) 監督会議受付時の予備抽選。
 - (2) 監督会議後の本抽選。
- 7 出発は、陸連規則に準ずるが、特に次のように合図する。
 - (1) 競技者は、予定通過時刻の20分前に点呼を受け、中継所役員の指示に従うこと。
 - (2) 競技者に対して、10分前・5分前・3分前・1分前をそれぞれ予告する。秒読みは30秒前20秒前・10秒前とする。
 - (3) 第一走者は、スタート5分前にトレーニングシャツを脱ぎ、3分前にスタートラインに並ぶこと。
 - (4) 10秒前と同時に「位置について」の合図をかける。このとき競技者は静止すること。
 - (5) 合図は、信号器によって行う。
- 8 中継点のたすきの受け渡しは、中継線から進行方向20mの間とする。
- 9 区間記録並びに順位は、競技者の胴体のいずれかの部分が中継線並びにフィニッシュラインに到達したことで計時、判定する。計時の単位は秒にとどめる。
- 10 各中継点で先頭から10分以上遅れたチームは、繰り上げスタートとする。その場合、白のタスキを使用する。
- 11 オーダー用紙を監督会議1時間前までに受付に提出すること。
- 12 オーダー用紙提出後から大会当日朝までの事故などによる競技者変更は、補欠をその区間の交代として補充する。区間の変更は認めないものとする。変更の際は、監督もしくは学校長の証明書を添えて競技者変更届けを大会当日午前7時15分より7時45分までに大会本部（山十中：荒木）に提出すること。
- 13 競技者の点呼方法及び招集時刻について
 - (1) 競技者の最終点呼は、先頭通過予定時刻15分前に招集所で行う。
 - (2) 最終点呼の際は、胸と背にナンバーカードのついた上衣を着て集合すること。

通過予定時刻

	1区	2区	3区	4区	5区	6区
女子	10:10	10:19	10:26	10:33	10:40	
男子	11:30	11:38	11:46	11:54	12:02	12:10

招集完了時刻

	1区	2区	3区	4区	5区	6区
女子	9:50	9:59	10:06	10:13	10:20	
男子	11:10	11:18	11:26	11:34	11:42	11:50